

分野 1. 母子保健

おおつ保健医療プラン 2 0 1 9 （第 3 期大津市保健医療基本計画）

<市民のあるべき姿>
いつまでもいきいきと暮らすことができる

<あるべき姿（基本目標 1）>
生涯にわたる健康づくりができる

施策が出しているべき効果

目標指標

市民が受けているべき

サービスの状態（中間アウトカム）

プロセス指標又はアウトカム指標

市民がなっているべき状態

（分野別最終アウトカム）

アウトカム指標

妊娠、出産を支援します

不妊、不育症相談

不妊、不育症治療費助成

妊娠適齢期の啓発

妊婦健診助成券の交付と検診費用助成

産後うつ対策

1 市民が安心して妊娠できる

1 妊娠 1 1 週以下での妊娠の届出率

母子保健

全ての親と子どもが、心身とも健やかに安心して暮らすことができる

子育てしている保護者とその子どもが心身とも健やかに安心して暮らしていると感じる割合

子育てを支援します

乳幼児訪問

親子対象の健康教育

児童虐待予防と早期発見

乳幼児健診の実施

育児相談

子育てに関するアウトリーチ

多胎児家庭への育児支援

2 市民が妊娠から出産、育児期までを安心して過ごすことができる

2 出産後の4か月健診で、毎日の生活に不安なく過ごせている人の割合

未熟児、疾病のある児を支援します

未熟児養育医療費給付

小児慢性特定疾病医療費助成

発達障害がある又はその疑いのある子どもの健全な成長を支援します

発達相談の実施と相談支援に関する周知

3 市民が安心して子育てできる

3 幼児健診で「子育てに充実感がある」と答えた人の割合

分野 1. 母子保健

第 4 期大津市保健医療基本計画

<基本理念>
いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ～健康は自分で・地域で・社会でつくる～

<基本目標 1 >
生涯にわたる健康づくりを進めます

取組の総称

具体的な取組

取組の成果

（中間アウトカム）

指標

目指す姿

（分野別最終アウトカム）

指標

プレコンセプションケアの啓発を含めた生涯の健康の基盤づくり

若年層に対する健康教育・啓発の実施

妊娠、出産の支援

不妊、不育症に関する相談支援

妊産婦への経済支援

妊娠期を心身ともに健康に過ごせる支援

1 こども・若者が健康な生活を送ることができる

1－1 20歳未満（15～19歳）の喫煙率（％）

1－2 （新規追加）小学生5年生の肥満割合（男子・女子）

2 市民が安心して妊娠できる

2 母子健康手帳発行時にフォロー不要であった妊婦の割合

3 市民が妊娠から出産、育児期までを安心して過ごすことができる

3 出産後の4か月児健診で、毎日の生活に不安なく過ごせている人の割合

健やかな子育ての支援

産後うつへの対策

親子対象の健康教育

育児相談・保健指導の実施

乳幼児健診の実施及び適切な事後フォローの実施

育児困難家庭の早期把握と早期対応

多胎児家庭への育児支援

健康や発達に課題のあるこどもの発育発達や療養の支援

疾病のあるこどもへの相談支援

発達相談の実施と相談支援に関する周知

4 市民が安心して子育てできる

4 幼児健診で「子育てに充実感がある」と答えた人の割合

分野 2. 健康づくり

おおつ保健医療プラン 2 0 1 9 （第 3 期大津市保健医療基本計画）

<市民のあるべき姿>
いつまでもいきいきと暮らすことができる

<あるべき姿（基本目標 1）>
生涯にわたる健康づくりができる

施策が出しているべき効果

目標指標

市民が受けているべき

サービスの状態（中間アウトカム）

プロセス指標又はアウトカム指標

市民がなっているべき状態

（分野別最終アウトカム）

アウトカム指標

健康づくり

市民が、疾病予防に努めるとともに、病気の有無にかかわらず、前向きに自分らしく暮らすことができる

病気の有無にかかわらず、前向きに自分らしく暮らすことができていると感じる市民の割合

健康に関する情報を発信します

健康教育の実施

健康推進員の養成

受動喫煙防止のための情報提供と禁煙の相談支援

無関心層や意識の低い人への啓発

効果的な情報発信

1 市民が健康につながる正しい知識や情報を得ることができる

1 健康づくりに関する情報へのアクセス数(大津市ホームページ)

2 市民が健康を維持するための生活習慣に取り組むことができる

2 毎日飲酒している人の割合

3 20歳の時の体重から10kg以上増加している人の割合

4 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合

5 睡眠で休養が十分にとれている人の割合

6 たばこを習慣的に吸っている人の割合

7 家庭で受動喫煙の機会を有する人の割合

健康のために運動をしなくなる環境を整えます

ウォーキング等の身近な運動に取り組みやすい環境づくり

健全な食生活が実践できる市民を増やします

食育の推進

市民が健全な食生活を送ることができる環境を整えます

健康おおつ21応援団の充実

給食施設への指導・支援

分野 2. 健康づくり

第 4 期大津市保健医療基本計画

<基本理念>
いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ～健康は自分で・地域で・社会でつくる～

<基本目標 1>
生涯にわたる健康づくりを進めます

取組の総称

具体的な取組

取組の成果

（中間アウトカム）

指標

目指す姿

（分野別最終アウトカム）

指標

健康に関する情報発信の推進

健康教育の実施

健康推進員の養成

受動喫煙防止に関する啓発

健康無関心層を含めた全ての人への啓発

1 市民が健康につながる正しい知識や情報を得ることができる

1 健康づくりに関する情報へのアクセス数(大津市ホームページ)

運動に取り組みやすい環境の整備

ウォーキング等の身近な運動に取り組みやすい環境づくり

食育の推進

食育の推進

2 市民が健康を維持するための生活習慣に取り組むことができる

2－1 肥満者（BMI2.5以上）の割合（40～64歳男性）

2－2 やせ（BMI18.5未満）の割合（20～39歳女性）

3 運動習慣者の割合（1日30分以上の運動を週2回以上のペースで、1年以上続けている人の割合）

4 睡眠で休養がとれている人の割合

5 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合

6－1 20歳以上の喫煙率

6－2 20歳未満（15～19歳）の喫煙率

7 朝食を欠食する人の割合（20～39歳）

健康な食生活を送るための環境の整備

健康おおつ21応援団の充実

給食施設への指導・支援

働く市民が健康に過ごすことができるようにします
地域・職域連携推進事業の推進
受動喫煙防止のための情報提供と禁煙の相談支援

生活習慣病を予防し、いくつになっても、自分らしく前向きに生活できる市民を増やします
特定保健指導の実施
健康相談や栄養相談の実施

自分の健康への関心を高めます
健康教育
各種健康診査の充実
各種がん検診の充実
ウイルス性疾患等の早期発見
歯周病検診の実施
要精密検査対象者への受診勧奨
受動喫煙防止のための情報提供と禁煙の相談支援

がんを早く見つけて、医療につながるようにします
がんに関する知識の普及
がん検診の受診率の向上
がん検診の質の向上（精度管理）

がんになっても、自分らしく生活できるようにします
がん患者の療養支援
情報提供と相談支援の充実
働く世代への支援（事業所向け啓発）

3 市民が各種検診（健診）を受けて病気の早期発見や健康管理ができる
8 定期的ながん検診を受けている人の割合（例：大腸がん）
9 特定健康診査受診率

4 市民に病気があっても支援を受けながら生活することができる
1 0 病気があっても、主観的健康観が「とても健康」、「まあまあ健康」と答えた人の割合

働く世代の健康づくりの推進
地域・職域連携推進事業の推進

生活習慣病の予防の推進
国民健康保険特定健康診査・特定保健指導の実施

健康意識の向上のための支援
健康教育の実施
がんに関する知識の普及
各種健診・検診情報の効果的な発信

歯・口腔の健康の推進
歯周病検診受診率の向上
幼児期からのう蝕予防による健全な歯・口腔の育成

がんの早期発見・早期治療の推進
がん検診の受診率の向上
がん検診の質の向上（精度管理）

がん患者への支援の推進
がん患者の療養支援
情報提供の充実

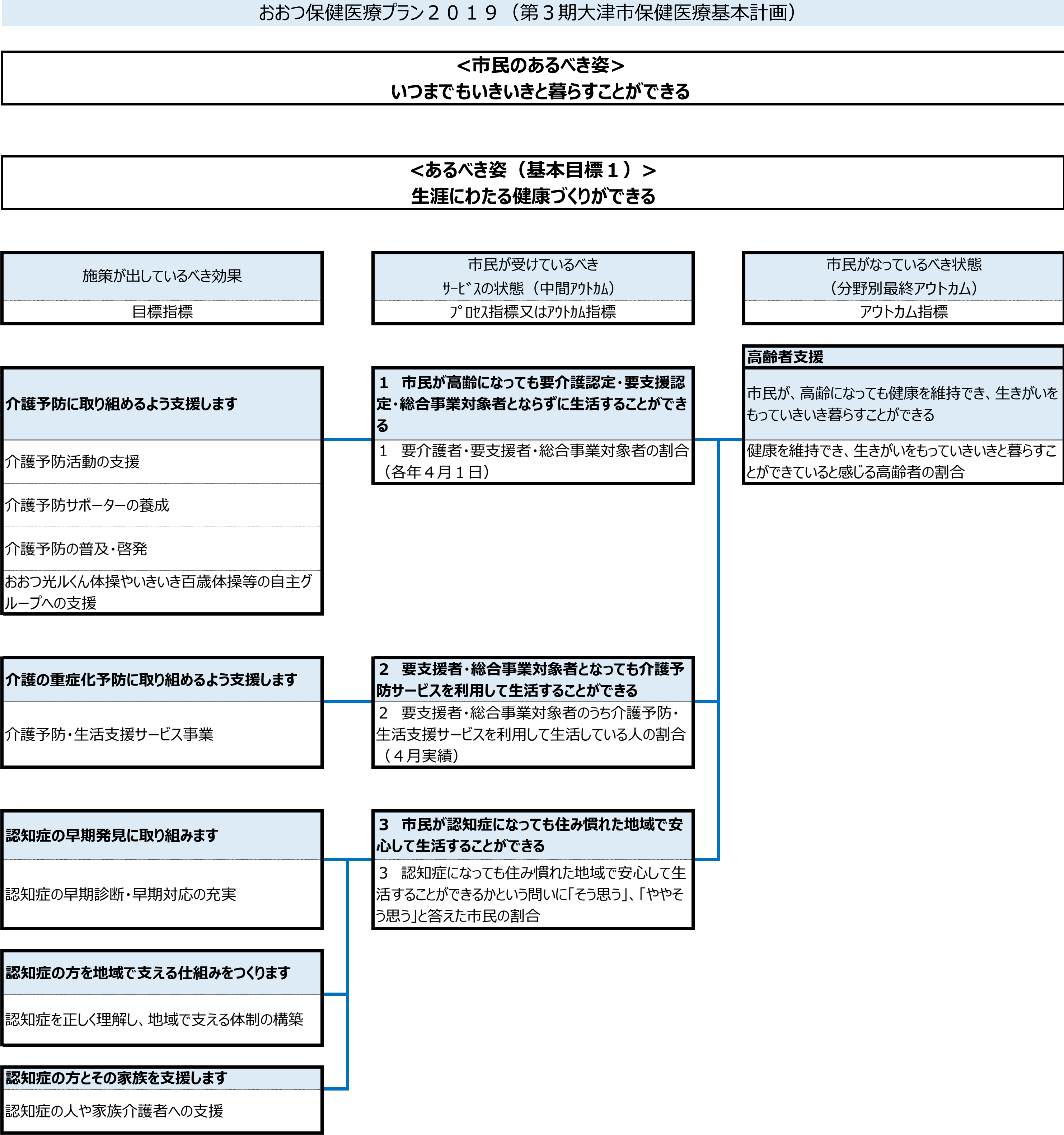
生活習慣病重症化予防の推進
生活習慣病重症化予防対策

3 市民が各種検診（健診）を受けて病気の早期発見や健康管理ができる
8 定期的ながん検診を受けている人の割合（5がん平均：市民意識調査）
9 大津市国民健康保険特定健康診査受診率
1 0 過去1年間に歯科検診を受診した人の割合

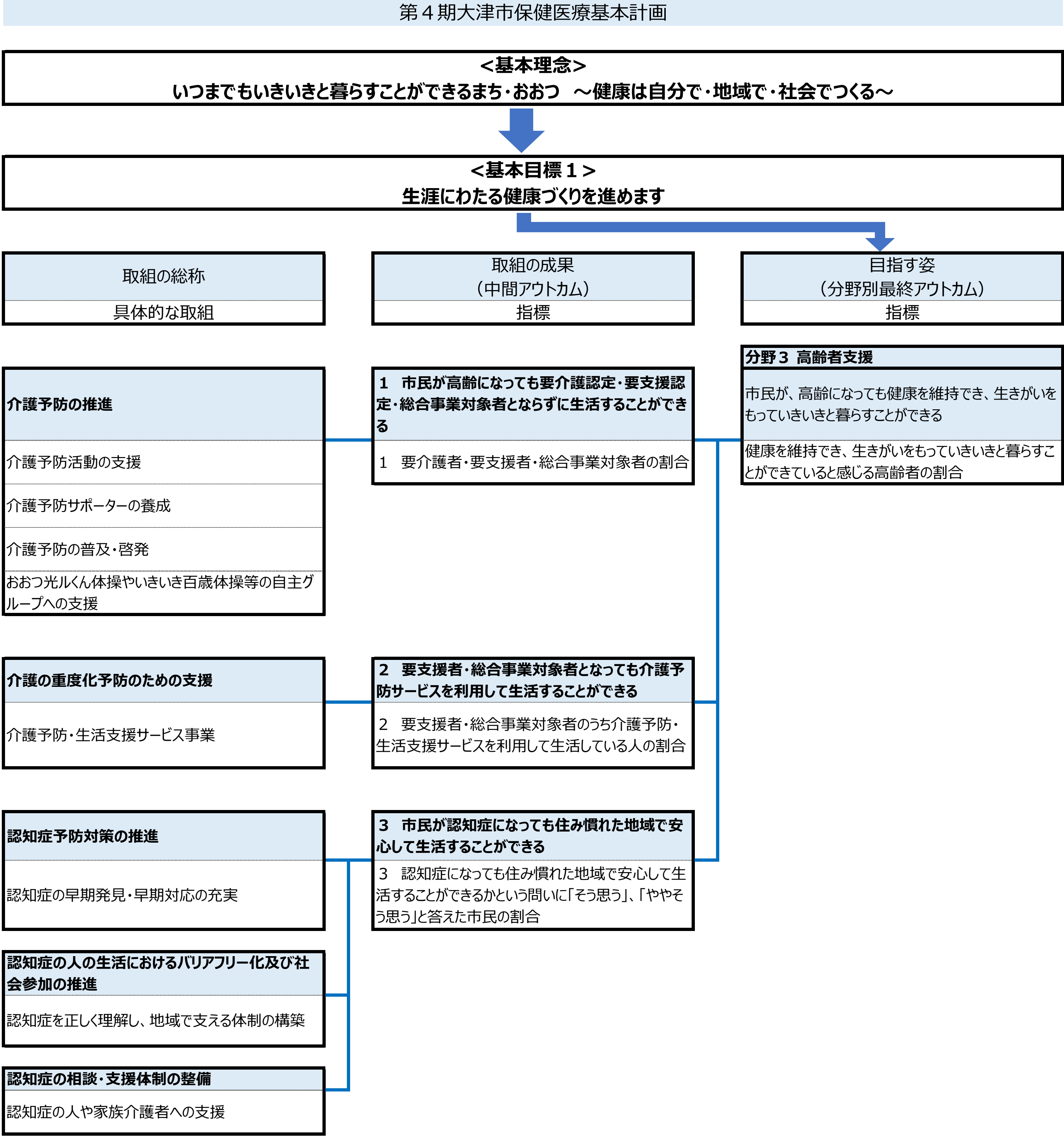
4 市民が、がん、及び生活習慣病になっても支援を受けながら生活することができる
1 1 がんの治療や検査を受けながら働き続けることができると感じている人の割合
1 2 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者（HbA1c 6.5%以上）の割合（40歳以上）
1 3 血圧（収縮期血圧）140mmHg以上の人の割合（％）（40歳以上）

糖尿病になっても、自分らしく生活できるようにします
糖尿病性腎症の重症化予防プログラムの実施
治療対象者への受診勧奨
医療機関同士の連携体制の構築
家族・支援者等への教育支援

分野3. 高齢者支援



分野2. 高齢者支援



分野4．難病支援

おおつ保健医療プラン2019（第3期大津市保健医療基本計画）

＜市民のあるべき姿＞
いつまでもいきいきと暮らすことができる

＜あるべき姿（基本目標1）＞
生涯にわたる健康づくりができる

施策が出ているべき効果 目標指標	市民が受けているべき サービスの状態（中間アウトカム） プロセス指標又はアウトカム指標	市民がなっているべき状態 （分野別最終アウトカム） アウトカム指標
難病患者が安心して在宅療養できるように支援します	1 難病患者の生活の質（QOL）が高くなっている	難病支援 難病患者や家族が、望む場所で望む人と、安心して自分らしい生活続けることができる 難病患者及びその家族が自分らしく暮らすことができていると感じる割合
在宅療養患者に必要な医療・支援の充実	1 難病患者が生活に満足を感じている割合	
難病患者向け相談窓口の設置・相談機会の提供		
経済的負担軽減策の推進と情報提供		
難病在宅支援従事者の資質向上		
難病患者の家族や周囲の方が本人に継続した支援ができるようにします	2 家族の生活の質（QOL）が高くなっている	
家族向け相談窓口の設置・相談機会の提供	2 必要な情報や支援が得られている割合	
災害時に難病患者が適切な対応をとることができるようにします	3 災害時の対応が地域ぐるみでできる	
避難行動要支援者に対する災害時への備えの充実	3 災害時の援助方法が明確になっている難病患者の割合	

分野4．難病対策

第4期大津市保健医療基本計画

＜基本理念＞
いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ～健康は自分で・地域で・社会でつくる～

＜基本目標1＞
生涯にわたる健康づくりを進めます

取組の総称 具体的な取組	取組の成果 （中間アウトカム） 指標	目指す姿 （分野別最終アウトカム） 指標
在宅療養する難病患者への支援	1 難病患者の生活の質（QOL）が高くなっている	分野4 難病支援 難病患者や家族が、望む場所で望む人と、安心して自分らしい生活続けることができる 難病患者及びその家族が自分らしく暮らすことができていると感じる割合
在宅療養患者に必要な医療・支援の充実	1 難病患者が生活に満足を感じている割合	
難病患者向け相談機会の提供		
難病支援制度に関する情報提供		
難病在宅支援従事者の資質向上		
難病患者の家族への相談支援	2 家族の生活の質（QOL）が高くなっている	
家族向け相談機会の提供	2 必要な情報や支援が得られている割合	
災害時における難病患者への支援	3 難病患者が災害に備えた準備ができている	
避難行動要支援者に対する災害時への備えの充実	3 災害時の援助方法が明確になっている難病患者の割合	

分野5．精神保健

おおつ保健医療プラン2019（第3期大津市保健医療基本計画）

＜市民のあるべき姿＞
いつまでもいきいきと暮らすことができる

＜あるべき姿（基本目標1）＞
生涯にわたる健康づくりができる

施策が出しているべき効果	市民が受けているべきサービスの状態（中間アウトカム）	市民がなっているべき状態（分野別最終アウトカム）
目標指標	プロセス指標又はアウトカム指標	アウトカム指標

こころの健康づくりを支援します
いつでも相談できる体制づくりの強化（本人）
受診支援（勧奨）
精神科医療機関との連携強化
自殺対策の強化
退院後支援フォロー体制づくり
ピアサポート活動を支援し、地域での居場所づくりを推進

精神障害者及び精神的健康に課題を抱える者を持つ家族や周囲の方が継続支援をできるように取り組みます
家族の孤立を防ぐ取組の実施
いつでも相談できる体制づくりの強化（家族や周囲）
家族の精神疾患に対する理解促進

精神疾患に対する理解者を増やします
こころの健康づくりのための啓発
支援者に対する活動支援（スキル向上策）
多職種協働による支援体制づくり

1 精神障害者や精神的健康に課題を抱える者の状態が落ち着いている
1 1年以上の長期入院者数（65歳以上）
2 1年以上の長期入院者数（65歳未満）

2 精神障害者や精神的健康に課題を抱える者の家族が健康で落ち着いて生活できる
3 精神障害者の家族教室・交流会の満足度

3 社会全体が精神疾患を受入れることができる
4 家族が精神の病気に罹った時に相談しようと思う割合

精神保健
精神障害者や精神的健康に課題を抱える者及びその家族並びに地域住民が、安定した社会生活を送ることができる
精神疾患がある方及びその家族が自分らしく暮らすことができていると感じる割合

分野5．精神保健

第4期大津市保健医療基本計画

＜基本理念＞
いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ～健康は自分で・地域で・社会でつくる～

＜基本目標1＞
生涯にわたる健康づくりを進めます

取組の総称	取組の成果（中間アウトカム）	目指す姿（分野別最終アウトカム）
具体的な取組	指標	指標

精神障害者及び精神保健に課題を抱える人への支援
精神障害者及び精神保健に課題を抱える人を対象とした相談機会の提供
医療が必要な人への受診支援
地域包括ケアシステム構築に向けての体制づくり
精神科医療機関との連携強化
自殺対策の強化
早期退院にむけての支援

精神障害者及び精神保健に課題を抱える人の家族への支援
家族の孤立を防ぐ取組の実施
精神障害者及び精神保健に課題を抱える人の家族を対象とした相談機会の提供
家族の精神疾患に対する理解促進

心の健康づくりの推進
メンタルヘルスに関する知識の普及啓発
メンタルヘルスに関する研修会の開催

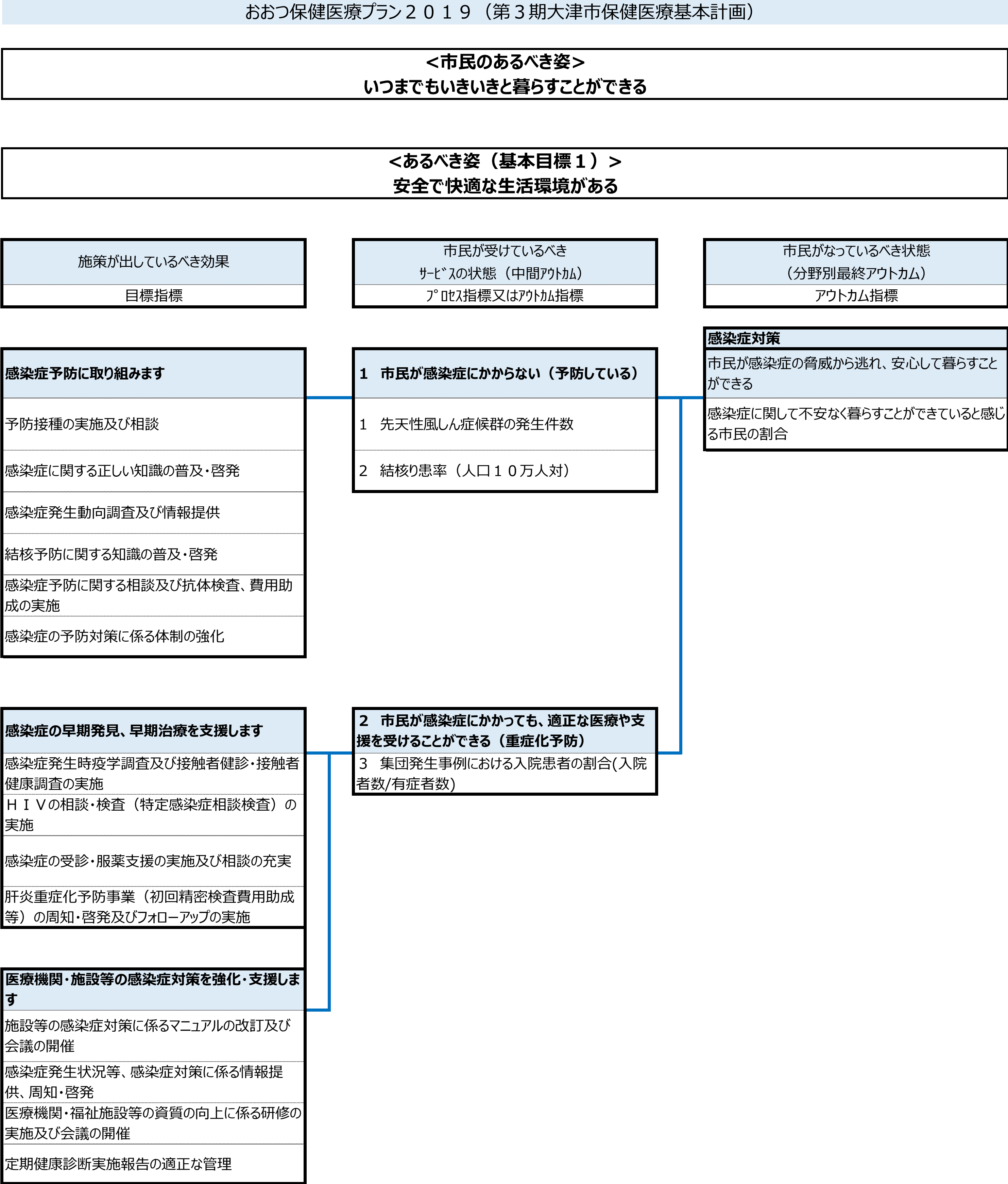
1 精神障害者や精神保健に課題を抱える人が希望する場所で安心して生活できている
1 1年以上の長期入院者数

2 精神障害者や精神保健に課題を抱える人の家族が孤立することなく安心して生活できている
2 精神障害者の家族教室・交流会の満足度

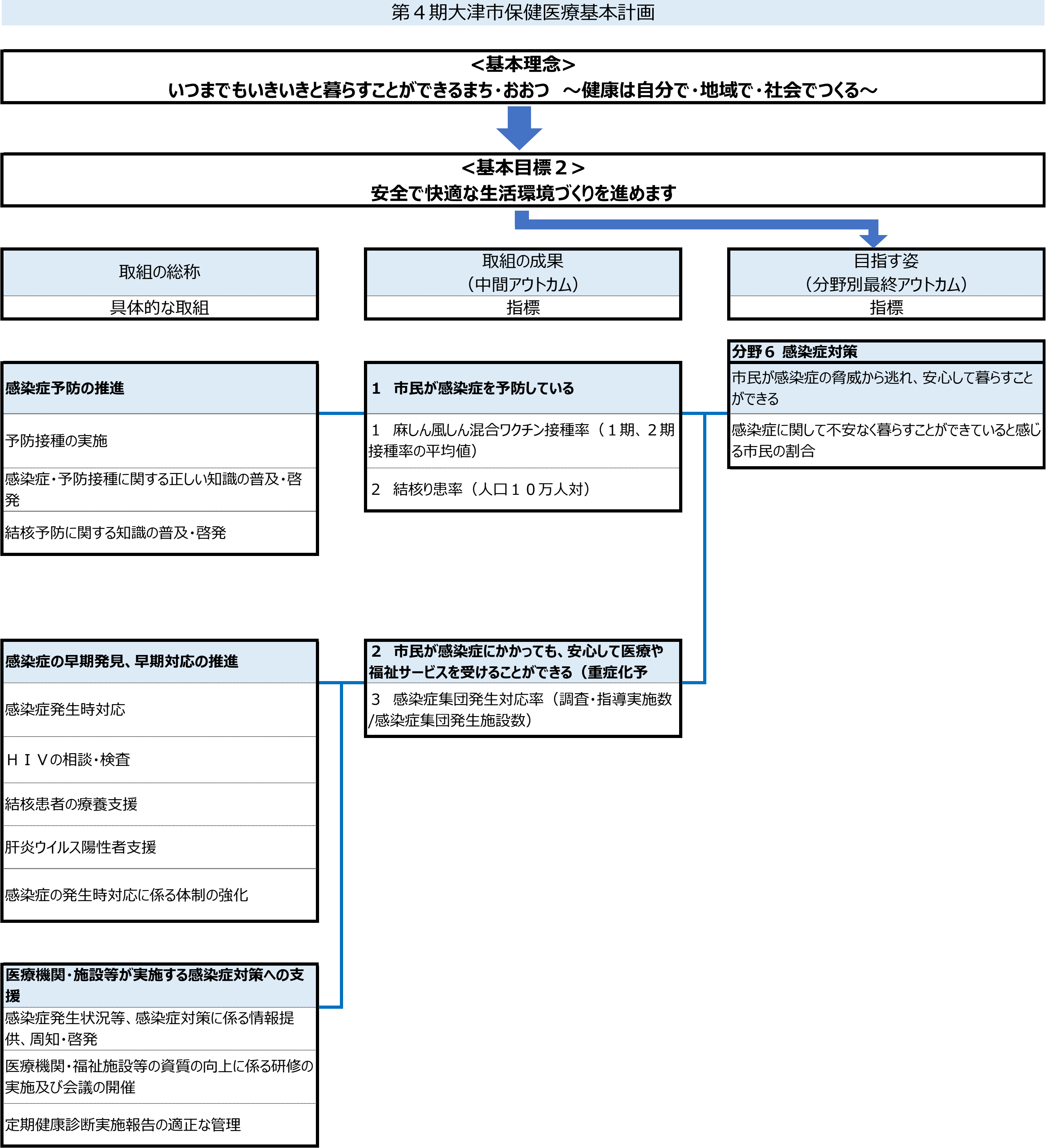
3 メンタルヘルスに関心のある市民が増えている
3 メンタルヘルスという言葉を知っている市民の割合

分野5 精神保健
精神障害者や精神的健康に課題を抱える人及びその家族が、安心して地域で生活を送ることができる
精神疾患がある人及びその家族が自分らしく暮らすことができていると感じる割合

分野 6．感染症対策



分野 6．感染症対策



分野 7. 生活衛生対策

おおつ保健医療プラン 2 0 1 9 （第 3 期大津市保健医療基本計画）

＜市民のあるべき姿＞
いつまでもいきいきと暮らすことができる

＜あるべき姿（基本目標 1）＞
安全で快適な生活環境がある

施策が出しているべき効果 目標指標	市民が受けているべき サービスの状態（中間アウトカム） プロセス指標又はアウトカム指標	市民がなっているべき状態 （分野別最終アウトカム） アウトカム指標
食中毒の発生を防止します 飲食店等食品営業施設に対する監視指導の実施 食中毒発生時の原因特定と対策の実施 飲料水の衛生確保のための指導の実施 食品事業者への啓発（H A C C P 方式に沿った衛生管理の導入支援） リスクコミュニケーションの実施 市民向けの講習会やホームページ・SNS による情報提供の実施	1 市民が食中毒にならない 1 人口 1 0 万人当たりの食中毒患者数（全国平均以下）	生活衛生対策 市民が健康で衛生的な日常生活を送ることができる 食べ物や暮らしを取り巻く衛生面に不安なく日常生活を送ることができていると感じる市民の割合
施設が原因となる感染症を防止します 生活衛生営業施設に対する監視指導の実施 生活衛生営業施設の営業者への啓発・支援 レジオネラ症発生時に微生物検査の実施 生活衛生に関する市民への啓発	2 市民が衛生的な生活環境で暮らすことができる 2 指導実施施設における翌年の苦情再発率 3 狂犬病予防接種率	
動物の愛護と狂犬病の予防を推進します 適正飼養者増加のための啓発 所有者明示の徹底 所有者のいない猫への対策 動物取扱業者に対する監視指導の実施 特定動物飼養者に対する監視指導の実施 飼い犬の登録や狂犬病注射に關しての周知啓発		

分野 7. 生活衛生対策

第 4 期大津市保健医療基本計画

＜基本理念＞
いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ～健康は自分で・地域で・社会でつくる～

＜基本目標 2＞
安全で快適な生活環境づくりを進めます

取組の総称 具体的な取組	取組の成果 （中間アウトカム） 指標	目指す姿 （分野別最終アウトカム） 指標
食の安全・安心の推進 飲食店等食品営業施設に対する監視指導の実施 食中毒発生時の原因特定と対策の実施 飲料水の衛生確保のための指導の実施 H A C C P（ハサップ）に沿った衛生管理の定着促進 リスクコミュニケーションの実施 市民向けの講習会やホームページ・SNS による情報提供の実施	1 食品の安全が確保されている 1 人口 1 0 万人当たりの食中毒患者数（全国平均以下）	分野 7 生活衛生対策 市民が健康で衛生的な日常生活を送ることができる 食べ物や暮らしを取り巻く衛生面に不安なく日常生活を送ることができていると感じる市民の割合
生活衛生対策の推進 生活衛生営業施設に対する監視指導の実施 生活衛生営業施設の営業者への啓発・支援 レジオネラ症発生時の微生物検査の実施 生活衛生に関する市民への啓発	2 市民が衛生的な生活環境で暮らすことができる 2 指導実施施設における翌年の苦情再発率 3 狂犬病予防接種率	
動物愛護と狂犬病予防の推進 適正飼養者増加のための啓発 所有者のいない猫への対策 動物取扱業者に対する監視指導の実施 飼い犬の登録や狂犬病注射に關しての周知啓発		

分野8. 医療体制・医療安全

おおつ保健医療プラン2019（第3期大津市保健医療基本計画）

＜市民のあるべき姿＞
いつまでもいきいきと暮らすことができる

＜あるべき姿（基本目標1）＞
安心して暮らせる医療体制がある

施策が出しているべき効果

目標指標

市民が受けているべき

サービスの状態（中間アウトカム）

プロセス指標又はアウトカム指標

市民がなっているべき状態

（分野別最終アウトカム）

アウトカム指標

地域リハビリテーション支援体制を整備します

専門職が活動しやすい環境の整備（地域リハビリテーション支援体制の整備）

在宅療養・看取りを支援します

在宅看取りについての市民理解の促進

多職種連携の推進

医療介護関係者への相談支援

在宅医療の担い手の育成・確保

訪問看護ステーションの体制強化

24時間の支援体制・在宅看取りに対する診療所の対応力強化（急変時のバックアップ体制の強化含む）

適正な医療機能が保てるようにします

地域医療構想の実現に向けた取組（過不足のある病床機能の転換やネットワーク化）

市立大津市民病院の運営の支援

患者情報の共有を円滑にします

入退院支援連携の強化

患者情報連携体制の整備

かかりつけ医の活用をすすめます

在宅医療（在宅療養・看取り）についての市民理解促進

かかりつけ医・医療の適正受診についての啓発

1 市民が状態に応じた医療を選択することができる

1 長期療養や看取りに関する希望を持っている市民の割合

2 病床機能のうち、不足する病床数（回復期）

医療体制・医療安全

市民が望んでいる安全・安心な医療を受けることができる

医療を身近に感じて、安心して受診することができていると感じる市民の割合

分野8. 医療体制・医療安全

第4期大津市保健医療基本計画

＜基本理念＞
いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ～健康は自分で・地域で・社会でつくる～

＜基本目標3＞
安心して暮らせる医療体制づくりを進めます

取組の総称

具体的な取組

取組の成果

（中間アウトカム）

指標

目指す姿

（分野別最終アウトカム）

指標

リハビリテーション連携の推進

病院と地域の連携推進のための同職種間連携の推進

在宅療養・看取りの推進

在宅療養、看取りについての市民の理解の促進

在宅療養、看取りについての専門職の理解の促進と連携強化

医療介護関係者への相談支援

訪問看護ステーションの体制強化

24時間の支援体制・在宅看取りに対する診療所の対応力強化（急変時のバックアップ体制の強化含む）

適正な医療体制の確保

市立大津市民病院の運営の支援

小児救急医療体制の確保

救急医療体制の確保

休日における歯科救急患者に対する歯科診療の確保

入退院支援連携体制の確保

入退院支援連携の強化

かかりつけ医・医療機能の促進

かかりつけ医・医療の適正受診についての啓発

1 市民が状態に応じた医療を選択することができる

1 自宅等で最期まで療養することを希望する市民の割合

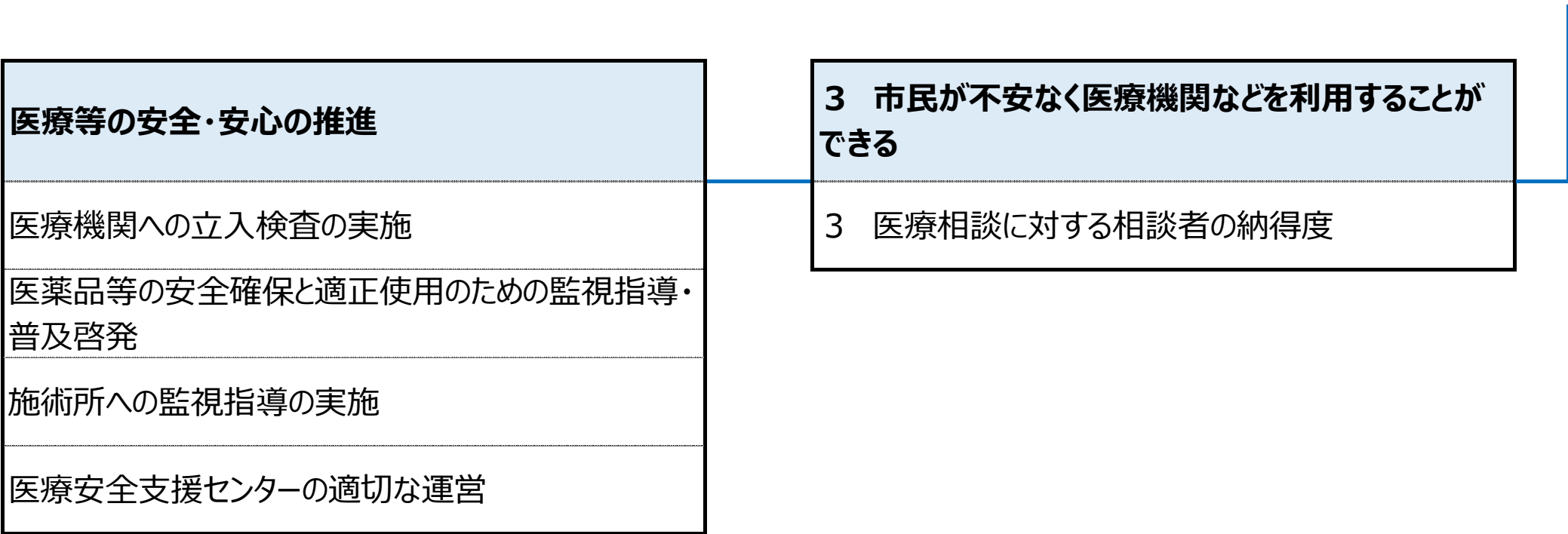
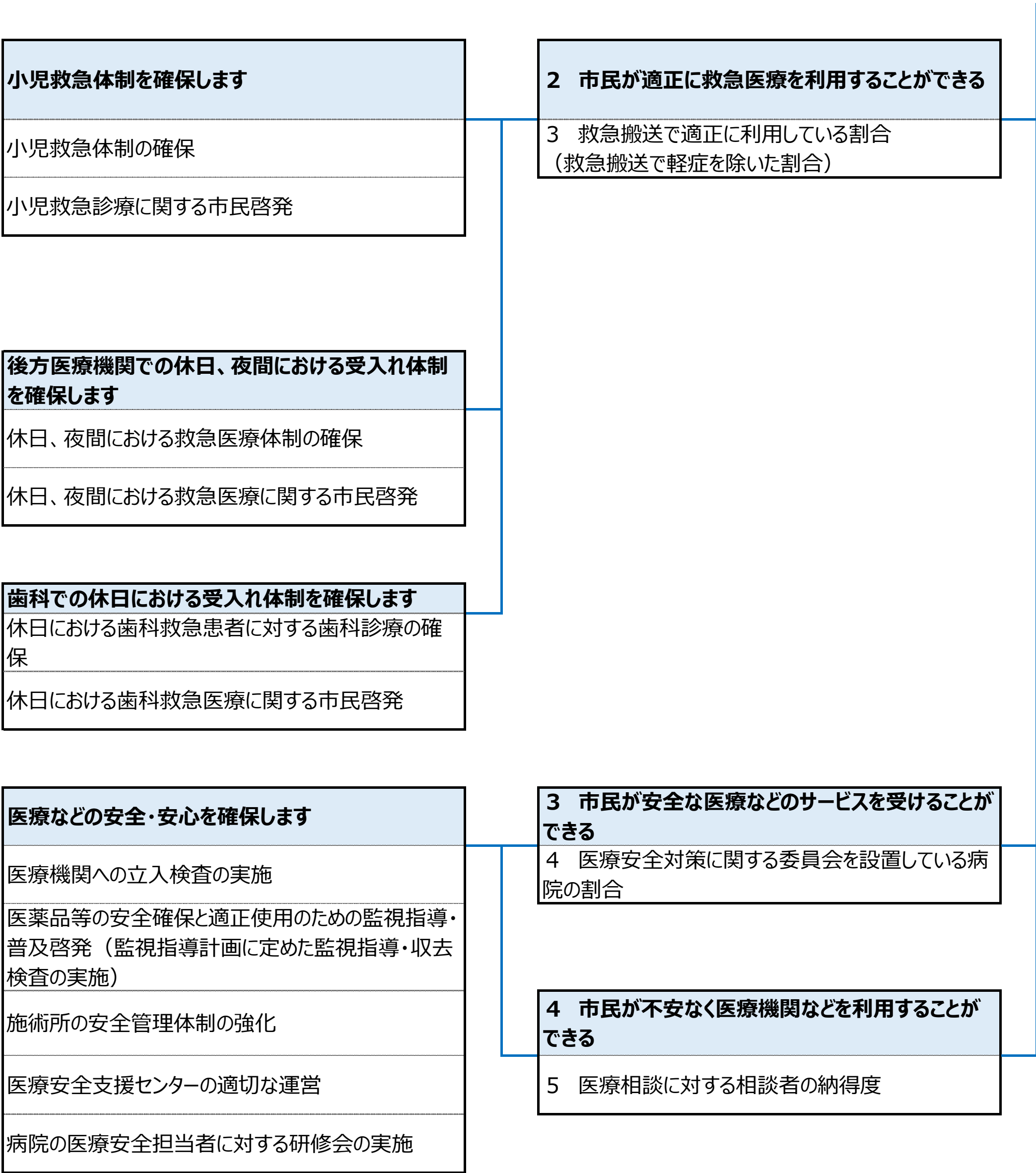
2 市民が医療機関を適正受診することができる

2 搬送件数に占める軽症者割合

分野8 医療体制・医療安全

市民が望んでいる安全・安心な医療を受けることができる

医療を身近に感じて、安心して受診することができていると感じる市民の割合



分野9．健康危機管理

おおつ保健医療プラン2019（第3期大津市保健医療基本計画）

＜市民のあるべき姿＞
いつまでもいきいきと暮らすことができる

＜あるべき姿（基本目標1）＞
安心して暮らせる医療体制がある

施策が出しているべき効果

目標指標

市民が受けているべき

サービスの状態（中間アウトカム）

プロセス指標又はアウトカム指標

市民がなっているべき状態

（分野別最終アウトカム）

アウトカム指標

災害が起こったとき、市民の健康面の安全を確保します

災害時における医療機関の被害状況の情報収集

災害時における医療提供体制の構築

原子力災害発生時の市民の健康被害への備え

災害時における健康相談

災害時における衛生的な環境の確保

災害時における妊産婦、難病患者、透析患者、精神患者への避難情報提供

平時における災害対応訓練の実施

1 市民が災害時に必要な保健医療を受けることができる

1 地域災害拠点病院数

2 市民が災害時に避難所、自宅での生活を健康に送ることができる

2 市民の健康維持に従事する保健師など専門職の確保

3 自然災害等を想定した訓練・研修の実施回数

健康危機管理

災害が起こったとき、市民が健康を保つことができる

万一の発生に備え、体制整備に努めており、今後も継続的に行う

新型インフルエンザ等が発生したとき、市民の健康面の安全を確保します

新型インフルエンザ等に関する情報収集と提供

新型インフルエンザ等に関する予防体制の整備

新型インフルエンザ等の感染拡大防止

3 市民が新型インフルエンザ等に感染しない

4 国内発生があっても市内で感染者がでない

4 市民が新型インフルエンザ等に感染しても必要な医療を受けることができる

5 新型インフルエンザ等に対する医療を提供する医療機関等の数

健康危機管理

新型インフルエンザ等が発生したとき、市民が健康を保つことができる

万一の発生に備え、体制整備に努めており、今後も継続的に行う

分野9．健康危機管理

第4期大津市保健医療基本計画

＜基本理念＞
いつまでもいきいきと暮らすことができるまち・おおつ ～健康は自分で・地域で・社会でつくる～

＜基本目標3＞
安心して暮らせる医療体制づくりを進めます

取組の総称

具体的な取組

取組の成果

（中間アウトカム）

指標

目指す姿

（分野別最終アウトカム）

指標

健康危機管理体制の整備

平時における保健所対策本部体制の整備

健康危機に対応する人材の育成

災害時における情報収集・共有体制の整備

災害時における医療提供体制の構築

災害時における健康相談体制の整備

災害時における妊産婦、難病患者、透析患者、精神患者への避難情報提供体制の整備

災害時における衛生的な環境の確保

1 市民が災害時に必要な保健医療の提供を受けることができる

1 健康危機に対応できる保健所の体制・機能を整備するための訓練・研修の実施回数

2 市民が災害時に避難所、自宅等での生活を健康に送ることができる

2 健康危機に対応できる人材を育成するための訓練・研修の参加者数

分野9 健康危機管理

災害が起こったとき、市民が健康を保つことができる

中間アウトカムの達成率

新型インフルエンザ等感染症発生時の感染拡大防止体制の整備

新型インフルエンザ等感染症に関する情報収集と提供

新型インフルエンザ等感染症住民接種体制の整備

新型インフルエンザ等感染症の感染拡大防止

3 市民が感染症に関する必要な情報を把握している

3 新型インフルエンザ等感染症の発生状況・発生に備えた準備状況等に関する情報発信回数

4 市民が新型インフルエンザ等感染症に感染しても必要な医療を受けることができる

4 新型インフルエンザ等感染症に対する医療を提供する医療機関等の数

分野9 健康危機管理

新型インフルエンザ等感染症が発生したとき、市民が健康を保つことができる

中間アウトカムの達成率